

千葉市科学館プラネタリウム特別投影

星と音楽のひととき

金色のハープが奏でる
クリスマス・ナイト

2010. 12. 18 [土]

開場 18:15 開演 18:30

演奏：斎藤 葉 Yo Saito (ハープ奏者)

料金： 一般 1500円
高校生 900円
小・中学生 300円 [全席指定]

場所：千葉市科学館 7階プラネタリウム

曲目：流れる星たち、ホワイトクリスマス
星空のプロムナード、オーロラ、シリウスの涙
ほか

*曲目は変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

チケットは科学館ミュージアムショップおよびローソンチケットにて販売中。(ローソンチケットLコード【31872 星と音楽のひととき12月18日】各種割引をご利用の場合は、科学館ミュージアムショップにてお買い求め下さい。

※購入時要提示

- 障害者手帳ご提示の方とお連れの方1名まで2割引。
- ふれあいパスポートご提示の市内在住の小・中学生は2割引。
- 市内在住60歳以上の方で、ご本人が確認できるものをご提示の方は2割引。
- 就学前のお子様の同伴・入場はご遠慮ください。



【お問合わせ】千葉市科学館 〒260-0013 千葉市中央区中央 4-5-1 きぼーる内
TEL 043-308-0514 FAX 043-308-0520 (開館時間：午前9時～午後7時)

星と音楽のひととき

金色のハーブが奏でる クリスマス・ナイト

2010. 12.18 [土]

齋藤 葉(ハーブ) Yo Saito, Harp



東京芸術大学卒業。同大学院修了。ローザンヌ音楽院に留学。

桑島すみれ氏、C・マチュー氏に師事。また、L.ラスキーヌ、S.ミルドニアン等世界的なハーピストの指導を受ける。

1991年、日本ハーブ・コンクール プロフェッショナル部門第2位。ソロ、アンサンブル、オーケストラ、スタジオ録音など幅広い場での演奏活動を行う。1987年から、カザルスホールなど東京で4回のリサイタルを自主開催。トータルな癒しの音空間を自らプロデュースし、シンセサイザーとの共演を交えた「響きのオアシス」シリーズを1998年に第1回(東京FMホール)、2004年に第2回(白寿ホール)を開催した。

クラシックジャンルでのオーソドクスな活動の傍ら、オカリナの宗次郎、ピアノの故・羽田健太郎との共演をはじめ、幅広いジャンルのスタジオ録音、LIVEなどで活躍し、ユニークで多彩な演奏のキャリアをもとに、様々な音楽の要素と感性を身につける。

1997年ごろより、我流の作曲作品を発表し、好評を博す。JASRAC(日本音楽著作権協会)準会員。

全作自作自演によるCDアルバム、1997年「Soft & Mild "Southern Cross"」ではシンセサイザーを多用、星にちなんだタイトル作品8曲を収録。2002年「ハーブが奏でる幻想のケルト・アイリッシュミュージック」(キティMME/ユニバーサルミュージック)では、各種ハーブによる多重録音を駆使した新境地

を開拓。代表作品「時のない館」「天空の聖歌隊」はiTunes等ダウンロードサイトのロングセラーとなっている。2009年、自らのレーベル「イグレックレコード」より、「星空のプロムナード」「泉〜ハーブ小品集」を同時発表。また約千二百年の眠りから甦った正倉院復元楽器の堅琴「箜篌」(くご)の収録および演奏に取り組み、2002年「東大寺大仏開眼1250年奉納演奏」などに於いてインパクトのある演奏とステージを披露した。2006年CD「箜篌KUGOまぼろしの和のハーブ」を発表。

ユニークで多彩な演奏のキャリアのもとに、親しみやすい切り口での、質の高いコンサートづくりを心掛け、ジャンルをとりはらった感覚の独自の道を追求し第一線で活躍する実力派として高い評価を得ている。

1997年、(社)日本青年会議所よりTOYP大賞受賞。ハーブ音楽の普及にも熱意を持ち、2008年より3年間、横浜みなとみらいホールにて、ハーブの祭典的コンサートシリーズ「ハーブの未来」を企画主宰した。日本ハーブ協会理事。

ホームページ <http://www.yo-saito.com/>

2009年2月と12月のプラネタリウム特別投影「星と音楽のひととき」に於いて大好評を博し、今回で3回目となる齋藤葉のハーブ演奏。クリスマスにふさわしい金色のハーブと、齋藤葉独自の音響システムの融合による、スペクタクルかつファンタスティックな、星とハーブのひとときにご期待ください。

ハーブについて

“ハーブ”という楽器にどのようなイメージをお持ちでしょうか?

フランス語でハーブという単語は“La Harpe”と女性名詞で表されるにふさわしく、華麗で優雅なイメージをお持ちかもしれないし、天使やお姫さま、人魚など神話にでてきそうな何か現実離れたものを連想されるかもしれない、または、対照的に心の“琴線”という言葉

があるように、吟遊詩人のかきならす堅琴であれば、人間の根源的なものに密接に関わりあってきた楽器とも捉えられるでしょう。

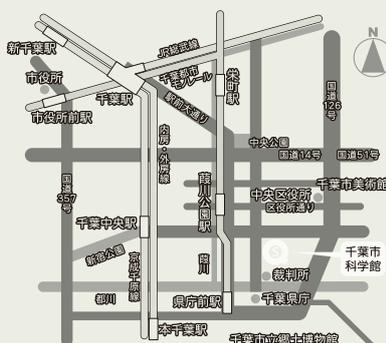
共鳴させる箱に弦を張ってそれを手ではじいて音を出す……人類が考えた最も古い楽器のひとつとして出発して、5000年近い歴史をくぐりぬけてきた楽器です。現在一般にコンサートで用いるグランド・ハーブは、

高さ約1.8m、重さ約35kg、弦は通常47本で音域は7オクターブ、半音操作のためのペダル7本(各ペダル=上b・中b・下#の3段階式)という構造になっています。19世紀はじめにフランス人のエラルによってこのようなダブルアクションペダル構造が完成されて近代から現在にかけて作品も沢山生まれ、奏法も大成されてきました。



Chiba City Museum of
science
千葉市科学館

電話：043-308-0514 FAX：043-308-0520
ホームページ：<http://www.kagakukanQ.com/>



- 所在地：千葉市中央区中央4丁目5番1号きぼー内
- 開館時間：9:00～19:00(プラネタリウムは20:00まで)
- 休館日：毎月最終月曜日、年末年始、機器点検日
- 交通案内
 - ・電車 JR千葉駅から徒歩15分
京成千葉中央駅から徒歩5分
千葉都市モノレール葺川公園駅から徒歩4分
 - ・バス 中央三丁目下車(当バス停前)
 - ・車 京葉道路穴川ICまたは東関東自動車道湾岸千葉ICを降り、千葉市内に向かい現地

ご来館の際は公共交通機関をご利用下さい